

自己評価シート

職員による自己評価

A環境面

- ・ 昨年に引き続き、教材の充実度についての評価が若干低かった。
- ・ 全般的に良い評価だった。
- ・ スタッフ間で相談することができている。

B利用者への支援内容

- ・ カフェについての評価が総じて高かった。利用者にとって良い場となっていると感じているスタッフが多い。

C関係機関との連携

- ・ 学校や他機関との連携が十分ではないと感じている。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・ 保護者からの要望や悩みなどを聴き取り、支援に生かすことが十分できていないという意見が若干あった。

E非常時対応

- ・ 利用者の病気、アレルギー情報の周知ができていない。

保護者による評価

A環境面

- ・ 昨年と同様に、教室の環境やスタッフの人数、配置、他の利用者との関係についておおむね良好な反応。

B利用者への支援内容

- ・ 利用者同士の関係に対する配慮について高い評価があり、また利用者児童が来室することを楽しみにしているという回答が比較的多かった。カフェの有効性が現れていた。

C関係機関との連携

- ・ 昨年に引き続き学校や関係機関との連携についての不足感がある。

D事業所からの情報発信

- ・ 保険加入についての周知ができていない。
- ・ 面談は概ね有効という反応。
- ・ 概ね要望に対応しているという回答。

E非常時対応

- ・ 利用者の病気、アレルギー情報の周知が十分とはいえない。

事業所内での分析

【共通点】

- ① 支援活動内容とその効用については概ね良好な反応。特にカフェが有意義であるという点が共通している。
- ② 学校や他機関との連携が不十分と捉えられている。
- ③ 病気、アレルギーについての情報周知が不十分と捉えられている。

【相違点】

- ① 昨年に引き続き教材の充実度についてスタッフが不足と感じている。

分析・検証してみた

事業所の強み

- ①利用者スタッフ、また利用者間の関係が概ね良好な場となっている。
- ②スタッフと保護者の関係も概ね良好である。
- ③カフェコーナーが充実している。
- ④支援内容の充実とその効果を感じることができている。

事業所の改善点

- ①教材の充実度を上げる。
- ②他機関や学校との連携を深める。
- ③病気、アレルギーについての情報周知を進める。

事業所の改善への取り組み

- ①主にスタッフが教材の不足感を感じているため、聴き取りを行い必要な教材の補充を行う。昨年も要望を聞いたが解消されていないため、より具体的に検討する必要がある。
- ②他機関や学校との連携については、毎年評価が低い。実際に行われることが多くなく、学校との連携は当方のみでは難しい面があるが、コロナが5類となり以前より活動がしやすくなっているため、より幅広い連携の機会を作っていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

例年同じような評価結果となっており、評価の低い項目についての改善がなされていないことがわかる。より具体的な方策を検討したい。

今年は特にカフェについての評価が高い傾向があった。実際にスタッフと利用者、利用者同士が交流する場として有効に活用されている様子がある。学習、余暇、カフェの場を通して、利用者の成長を見守り支援できる環境づくりをこころがけていきたい。

事業所名 レクタス放課後等デイサービス 金沢教室
担当者 平田 雄也